

令和7年度に実施した子どもが主体的に参画するイベント  
 子どもの意見表明機会・施策への反映状況一覧

(1) 子どもが主体的に参画するイベント

イベント名	取組概要	対象	担当課
みえっこ会議	令和7年3月に改正した「三重県子ども条例」に基づく取組の一つとして、子どもが委員となり、自分たちでテーマを決めたうえで話し合い、県に意見を届けて県の次年度以降の取組に活用する「みえっこ会議」を開催した。 ・実施期間：令和7年7月～8月 ・参加人数：15人	小学校 4年生 ～高校 生世代	子ども ・福祉部 少子化対策課
キッズスタッフ ※みえこどもの城	みえこどもの城のキッズスタッフが普段の生活の中で思っていることを話したり、こどもの城の運営やイベントに対する意見を出し合い、その実現に向けた具体的な取組について話し合う「こども会議」を実施したほか、みえこどもの城が開催するイベントの運営に参加した。 ・キッズスタッフが企画したイベント ○なんでもあり？おたのしみ会 ・来場者 207人 ○あそびおさめ！年末大パーティー ・来場者 56人 ・キッズスタッフがイベント運営に参加したイベント ○こどもの城まつり ○オレンジまつり	子ども	子ども ・福祉部 少子化対策課
サイエンス広場 ※みえこどもの城	県内の中・高・大学生等が日頃の学習・研究成果について展示、発表などを行うとともに、地域の企業等と協働して、工作、体験の機会を幼児・小学生の子どもたちに提供した。 子どもたちが実験やものづくり等の体験を通して科学に触れ、楽しさを知ること、興味や関心を持ち、探求心を育む機会とした。	子ども	子ども ・福祉部 少子化対策課
サイエンスフェア ※みえこどもの城	県内の高校生が、企画・打合せ・準備、当日の受付・放送など、運営の中心となってこどもの城でイベントを開催した。 化学・生物・地学・物理・情報など日頃の学習成果をもとに、展示・発表などを行うとともに、工作・体験の機会を幼児・小学生の子どもたちに提供した。	子ども	子ども ・福祉部 少子化対策課
高校生 フェスティバル	「三重県立高等学校産業教育フェア」「みえ高文祭」「三重県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」「高校紹介ひろば」「人権まなびの発表会」を実施し、高校生が日頃の学習や文化活動等の成果を情報発信した。 (イベント内容企画・当日の運営などを子どもが担当)	子ども 大人	教育委員会 高校教育課
『人権が尊重される三重』をつくる こどもサミット	「意見を表明する権利」や「参加する権利」を保障する機会をつくり、子どもたちに差別を解消し人権が尊重される社会をつくる主体者としての意識を育むため、令和7年12月24日に「『人権が尊重される三重』をつくるこどもサミット」を開催した。 (当日の司会を子どもが担当)	小学生 中学生 県立学 校生	教育委員会 人権教育課

イベント名	取組概要	対象	担当課
三重県工業高校生フェア	<p>みえこどもの城において、県内の工業学科設置校の高校生が作品展示や各校の案内を行うとともに、ものづくりやデジタル技術の体験などの企画を運営し、児童生徒や保護者等の工業高校に対する関心を高め、理解を深める機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験ブース 14企画</li> <li>・展示ブース 7企画</li> <li>・来場者 児童生徒 987人 保護者・一般 1040人</li> <li>・アンケートによる満足度 約99.5% (児童生徒 435人回答)</li> </ul>	子ども 大人	教育委員会 高校教育課
みえ探究 フォーラム2025	<p>鈴鹿医療科学大学において、中学生や高校生が日頃取り組んだ自由研究や課題研究、総合的な探究の時間等に係る研究成果を発表した。</p> <p>また、小学生を対象とした科学体験講座を高校生が実施し、児童生徒の自然科学・社会科学・人文科学に対する興味・関心を高める機会を提供した。 (当日の受付・司会進行を高校生が担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表数 76本</li> <li>・科学体験講座 8講座</li> <li>・参加者 小学生152人 中学生22人 高校生278人</li> </ul>	小学生 中学生 高校生	教育委員会 高校教育課
学校防災 ボランティア	<p>県内の高校生35名が、支援者となり得る視点から安全で安心な社会づくりに貢献できるよう、11月1日から3日にかけて能登半島地震の被災地を訪問し、現地の方々との交流やボランティア活動、被災体験・復興についての学習や現地中高生との防災合同学習を行う学校防災ボランティア事業を実施した。</p>	高校生	教育委員会 教育総務課
いじめ防止 強化月間	<p>4月と11月のいじめ防止強化月間において、児童生徒が駅やショッピングモールで啓発活動を行うなど、いじめ防止のメッセージを広く県民に周知した。</p>	子ども 大人	教育委員会 生徒指導課
三重県高校生 バイク サミット2025	<p>高校生が、自転車の安全利用やヘルメット着用に向けた効果的な取組についてグループディスカッションを行った。</p> <p>また、交通ルールの遵守や、自転車乗車時のヘルメット着用率の向上を目的にクイズを作成、その内容を各学校に還流し、啓発を図った。</p>	高校生	教育委員会 生徒指導課
平和に関する 企画展	<p>県内の高校生と広島県の高校生が、平和啓発の取組を発表する「活動発表会」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 令和7年8月24日(日)</li> <li>・発表者 高校生6人</li> <li>・来場者 約100人</li> </ul>	高校生	政策企画 総務課 企画調整班
戦後80年 平和のつどい	<p>県内の中高生が中心となって平和への想いを発信する「戦後80年平和のつどい」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 令和7年8月1日(金)</li> <li>・発表者 司会進行(高校生3人) 平和に関する楽曲の合唱(中学生23人) 平和に関する作品の朗読(高校生3人) 平和に関するトークセッション(高校生2人)</li> <li>・来場者 約600人</li> </ul>	中学生 高校生	政策企画 総務課 企画調整班

(2) 県が設けた子どもの意見表明の機会

取組名	取組概要	形式	対象	意見の反映方法	担当課
キッズ・モニター+	<p>子どもの意見表明を推進するとともに、その意見を県施策に反映するため、アンケート・オンライン・対面の3つの方法で子どもの意見を聴き取る仕組み「キッズ・モニター+（プラス）」を運営し、意見を聴き取った。</p> <p>【アンケート】 12回 【対面・オンライン】 5回</p>	その他	小学生～高校生世代	<p>①三重県子ども条例啓発パンフレットのイラスト、文章等に関して子どもたちの意見をもとに修正を行った。 (子ども条例パンフレット制作)</p> <p>②「ものづくり☆ひらめき作戦会議」で令和8年11月に実施するイベントの体験・展示内容、タイトル、展示方法を変更 (ものづくりイベント企画)</p> <p>③ものづくり(建設業)に関するアンケートでの意見を受け、動画投稿SNSを利用する子どもが多いことが分かったため、今後は動画を使った広報を中心に行うことにした。 (県土整備部の広報への意見)</p> <p>④キッズ・モニター+に関するアンケートでの意見を受け、アンケートの内容や使われる言葉、漢字などが難しいと感じる小学生が一定数いることが分かったため、テーマに関する説明を文章と動画を併用して実施することとした。 (キッズ・モニターアンケート運用見直し)</p> <p>⑤みえっこ会議に関するアンケートで、みえっこ会議の対話テーマについて年代ごとに関心の高い分野を聞き取り、多かったものを令和8年度のテーマとして採用することとした。 (みえっこ会議運用見直し)</p> <p>⑥「チラシ編集部」イベントで、令和8年度に県内に配布するキッズ・モニター+募集チラシのデザインについて子どもたちの意見を聞き取り反映させた。 (キッズ・モニター+チラシ制作)</p>	子ども・福祉部 少子化対策課
中学生のメッセージ (少年の主張三重県大会)の実施	<p>中学生が日頃感じていることや考えていることを広く発信するとともに、自分自身の生き方や社会との関わりを考える機会とするため「中学生のメッセージ2025」(少年の主張三重県大会事業)を実施した。</p>	対面形式	中学生	—	子ども・福祉部 少子化対策課

取組名	取組概要	形式	対象	意見の反映方法	担当課
みえっこ会議	令和7年3月に改正した「三重県子ども条例」に基づく取組の一つとして、子どもが委員となり、自分たちでテーマを決めたうえで話し合い、県に意見を届けて県の次年度以降の取組に活用する「みえっこ会議」を開催した。 (全4日間で実施)	対面形式	小学校4年生～高校生世代	<p>①「学校ごとに、カウンセラーや担任以外の先生に相談できる体制を作してほしい」という提案に対して、子どもの気持ちや意見を聴き、その思いを届けたい人に届けることや、意見をまとめる支援「子どもアドボカシー」を学ぶことができる、児童、生徒、教職員向けの3種類の動画教材を作成し、子どもが意見表明できる環境づくりに取り組む。</p> <p>②「三重県の文化施設や史跡、文化体験について、HPやSNS等を活用して、子どもに分かりやすく、興味を持てる情報を発信してほしい。」という提案に対して、新しく構築する「子ども向け情報ポータルサイト」を活用して、文化に関するイベント情報も子どもに分かりやすく発信する予定。</p> <p>また、イベント情報を発信する際は、子どもが興味を持てるよう、過去のイベントの様子を写真で分かりやすく紹介するなど、子どもが「行ってみたい!」と思えるような工夫を行う。</p> <p>③「子ども会議（小中学生対象の会議や、大人が介入しすぎないような会議など）を増やして、意見表明の場を設定してほしい。」という提案に対して、来年度の「みえっこ会議」では、年齢に応じたグループ分けを行うなど、子どもが話しやすい環境をつくる。</p> <p>また、大人が意見を誘導したり介入しすぎないように、会議の時間を十分に確保し、子どもが落ち着いて意見をまとめ、安心して発表できる会議の進め方を検討。</p>	子ども・福祉部 少子化対策課
児童相談所におけるアドボカシー	一時保護所に入所中の児童および一部の児童養護施設等に入所中の児童を対象として、アドボケイト派遣に取り組んでおり、権利についてのワークショップやアドボケイトの紹介、希望する子どもへの個別面談や意見表明の支援など、子どもの要望に応じた支援に取り組んだ。	その他	～高校生	—	子ども・福祉部 児童相談支援課

取組名	取組概要	形式	対象	意見の反映方法	担当課
こども会議 ※みえこどもの城	みえこどもの城のキッズスタッフが普段の生活の中で思っていることを話したり、こどもの城の運営やイベントに対する意見を出し合い、その実現に向けた具体的な取組について話し合う「こども会議」を実施した。 (5テーマについて検討 8期9人 9期9人)	対面形式	小学校3年生～ 中学生	①キッズスタッフの意見をもとに来館者へのインタビューを行った。 ②キッズスタッフの意見を反映したイベント「なんでもあり？おたのしみ会」を開催・広報 ③館内の設営をキッズスタッフがチェックし、出た意見をもとに設営を変更した。 ④キッズスタッフの意見を反映したイベント「あそびおさめ！年末大パーティー」を開催・広報 ⑤来館者を増やす取組として、キッズスタッフがみえこどもの城のYouTube番組を企画し、自ら出演するとともに、来館した子どもたちから寄せられた声を紹介しながら自らの考えや思いを自分の言葉で発信した。(キッズスタッフYouTube番組制作：2回)	子ども・福祉部 少子化対策課
三重県高校生バイシクルサミット2025	高校生が、自転車の安全利用やヘルメット着用に向けた効果的な取組についてグループディスカッションを行った。また、交通ルールの遵守や、自転車乗車時のヘルメット着用率の向上を目的にクイズを作成、その内容を各学校に還流し、啓発を図った。	オンライン形式	高校生	①交通ルールの遵守や、自転車乗車時のヘルメット着用率の向上を目的にした啓発用クイズに子どもの意見を反映	教育委員会 生徒指導課
『人権が尊重される三重』をつくるこどもサミット	「意見を表明する権利」や「参加する権利」を保障する機会をつくり、子どもたちに差別を解消し人権が尊重される社会をつくる主体者としての意識を育むため、令和7年12月24日に「『人権が尊重される三重』をつくるこどもサミット」を開催した。	対面形式	小学生 中学生 県立学校生	—	教育委員会 人権教育課